

平成 29 年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人曾根学園仙台幼児保育専門学校は、学校教育法及び学校教育法施行規則の定めに従い、平成 29 年度学校自己評価結果に基づいて学校関係者評価委員会を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

平成 30 年 8 月 18 日

学校法人曾根学園
仙台幼児保育専門学校 校長
自己評価委員会 委員長
伊 藤 幸 一

1. 開催日時 平成 30 年 8 月 3 日（金） 14:00～16:00

2. 学校関係者評価委員

庄子 真由美	学校法人東都学園 幼保連携型認定こども園 泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園 園長
佐藤 由美子	社会福祉法人円周福祉会 理事 堤町あしぐろ保育所 施設長
高橋 昌光	本校卒業生、小規模保育室 ぽっかぽかHome 代表

3. 学校教職員出席者

伊藤 幸一	仙台幼児保育専門学校 校長
石戸 祥也	仙台幼児保育専門学校 事務長
行場 裕樹	仙台幼児保育専門学校 教頭
滝上 島雄	学校法人曾根学園 理事長

4. 学校関係者評価

(1) 基準項目毎の評価・意見

I 教育理念・目的・育成人材像

No.	自己評価指標・自己評価結果	委員意見・評価
1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携制度や認定こども園への移行を踏まえ、それらに対応できる人材の育成が必要である。今後は幼・保の分け隔てのない人材育成が重要になる。この点に目を向けた指導が望まれると同時に、学生もこのことを念頭において学べるような体制作りが期待される。 ・「専門力」の必要性は当然であるが、より「人間力」に力点を置いた教育、人材育成が重要である。自己評価報告書の分析と「自信と自立」の視点は適切であるが、人間力向上の具体的な方策を確立してほしい。 ・「業界の人材ニーズの把握」に関しては、保育の現場としても養成校と連携して相互理解につなげたい問題である。
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	
4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	

II 学校運営

No.	自己評価指標・自己評価結果	委員意見・評価
1	理念に沿った運営方針を定めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数確保のためには学校の特色を積極的に打ち出し、他校との差別化を図る必要がある。 ・専門性が高く多彩な講師陣は本校の強みではないか。 ・学生へのアンケートを基にカリキュラムを編成するなど、学生の興味・関心を生かすことが、学校運営の改善につながることものではないか。 ・HPの活用等、学校からの発信力を強化していく必要がある。
2	理念等を達成するための事業計画を定めているか	
3	設置法人は組織運営を適切に行っているか	
4	学校運営のための組織を整備しているか	
5	人事・給与に関する制度を整備しているか	
6	意思決定システムを整備しているか	
7	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	

III 教育活動

No.	自己評価指標・自己評価結果	委員意見・評価
1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・学力や適性等の個人差に応じて保育士資格や幼稚園教諭免許を取得することの意味について適切な指導が望まれる。 ・保育技術に力を入れた教育はすばらしい。その取組を継続するとともに、校内で学んだ保育技術を子ども前で発表する機会も増やしてほしい。保育現場への積極的な声かけがあってよい。 ・現職保育士の講話等は、早期退職が多い現実を踏まえ、仕事のやりがい、生きがいについてのメッセージを送る内容にしたい。また、成功体験だけでなく失敗とそれを乗り越えた経験談を聞くことも極めて重要である。苦しいのは自分だけではないことを知ることが大事。
2	学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	
3	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	
4	教育課程について、外部の意見を反映しているか	
5	キャリア教育を実施しているか	
6	授業評価を実施しているか	
7	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	

8	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の中から保育現場に行く機会を多く設けたい。ボランティア活動も貴重な経験となる。 ・男性保育士の視点からの話を聞く機会を設け、男性保育士の悩みを女性も共有していくことも必要。 ・研修制度の充実が図られている。 ・即戦力のある保育者の育成に力を入れてほしい。
9	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	
10	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	
11	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	
12	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	
13	教員の組織体制を整備しているか	4	

IV 学修成果

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	就職率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生への卒業指導を行い、卒業生の社会的評価の把握に努めている点は素晴らしい。今後も続けてほしい。 ・担任制によるクラスのとまりの良さは本校の大きな財産である。同窓のつながり、信頼関係をより強固なものにしていきたい。
2	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	

V 学生支援

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校独自の、卒業生を対象とする就職バンクを開設は是非進めてほしい。保育現場の立場からも必要性を感じる。再度お願いしたい。
2	退学率の低減が図られているか	3	
3	学生相談に関する体制を整備しているか	4	
4	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3	
5	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3	
6	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3	
7	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3	
8	保護者との連携体制を構築しているか	4	
9	卒業生への支援体制を整備しているか	4	
10	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2	
11	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3	

VI 教育環境

No.	自己評価指標・自己評価結果	委員意見・評価
1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎敷地内に小規模保育園が開設され、子どもと身近に接する機会が増えたのは教育環境として良い。 ・校舎設備・教育機器の改善により一層努めてほしい。
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	
3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	
4	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	

VII 学生の募集と受入れ

No.	自己評価指標・自己評価結果	委員意見・評価
1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校との情報提供に改善が見られる。
2	学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	
3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	
4	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	
5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	
6	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	

VIII 財務

No.	自己評価指標・自己評価結果	委員意見・評価
1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・財務安定へ向け積極的に取り組んでほしい。 ・中長期的ビジョンで財政を運用してもらいたい。
2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	
3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	
4	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	
5	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	
6	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用している	

Ⅸ 法令等の遵守

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	・積極的に情報公開に取り組んでいる姿勢が見られた。
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	
3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	
4	自己評価結果を公表しているか	3	
5	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	
6	学校関係者評価結果を公表しているか	3	
7	教育情報に関する情報公開を積極的に 行っているか	4	

Ⅹ 社会貢献・地域貢献

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	・幼稚園・保育園・児童館・小中高校の連携が盛んな地域もあり、地域貢献の重要性は高まってきている。同法人施設も含め、ボランティアを含めた人の交流を今後とも取り組んでほしい。
2	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	

※評価欄は4段階による評価を示す（4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切）

（2）全体的な総括

<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は概ね適切であると評価する。取り組み途上で自己評価が低い点数になった項目に関しては、確実に実行し水準の段階に引き上げる必要がある。 ・自己点検、自己評価を通して学校のあり方を真摯に問い直すことは極めて重要である。次年度の改善、充実につなげる努力を期待する。 ・保育業界を取り巻く環境が変化している中でも本校卒業生は安定した力を発揮しており、教育力の高さを証明している。また卒後ケアも充実しており、丁寧な教育を実践している。これからも時代に即した保育者養成へ向け教育活動に励んでほしい。 ・保育士不足による人材不足が続く中、保育業界からの学校への期待は高い。18歳人口の減少など学生募集が困難な時代だが、魅力ある学校づくりにより一層励んでほしい。
--